

‘キキリチ’

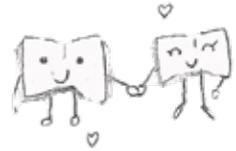
# CATCH

Vol.105 2024.7



西東京市図書館

# 本の中でも青春！



## 『武士道シックスティーン』

誉田哲也／著 文藝春秋

青春というのは中々難しい言葉です。世の中を見渡すと色々な青春を語る人を見ますが、それに伴う思い出や感情は様々であり、青春というものがいかに多様なものであるかを思い知らされます。

今回紹介する『武士道シックスティーン』はそんな青春の懐の広さを見せつけてくれる小説です。剣道をテーマとしたこの青春小説は、宮本武蔵を心の師とする剣道エリートの香織が、同年代の無名選手・早苗に試合で負けてしまう所から始まります。敗北の悔しさを胸に早苗を追って彼女と同じ高校に進学した香織ですが、そこで目にしたのは剣道初心者にして勝利へのこだわりもない「お気楽不動心<sup>ふ どうしん</sup>」の早苗の姿でした。勝利や強さにこだわる香織と勝敗にこだわりのない早苗、相反する二人は剣道部という舞台を相対し、交流していくことになります。

この小説は、先にも言ったように二人の少女を主人公としており、その内容も香織の視点と早苗の視点が交互に来るものとなっているため、真逆と言っても良い彼女らの青春が交わっていく様子を独特の視点で楽しむことができます。「剣道部」を舞台とした少々無骨ながらも爽やかな青春、皆さんもこの本を通して是非味わってみてください。

# すいぶ 『吹部！』

赤澤竜也／著 KADOKAWA

“この際、はっきり言っておくけど吹部は体育会だ。”この一文から物語は幕を開ける。吹部こと吹奏楽部。あなたは、吹奏楽部と聞いてどんなイメージを持つか。吹奏楽部経験者の私はこの一文に首を深く縦に振る。

この本は、廃部寸前の吹奏楽部のある高校に赴任した三田村先生が、部を立て直し成功へ導くストーリー。顧問の先生も部員もこの本に出てくる人物は個性的な人ばかり。特に、ミタセンとニックネームの付いた顧問の三田村先生は、一言で表せばカオス。二年生の部員<sup>かぶらぎさや</sup>鏑木沙耶は、ミタセンに突然部長に任命させられミタセンのわがままに一番振り回されている人といえる。それなのに、吹奏楽という共通点があるから部員と顧問は一つになれる。吹奏楽部に縁がない人も、これを読んでいくうちに音楽の力は想像以上に大きいのかもしれないと考えさせられるのではないだろうか。

この本は、中学時代クラリネットを吹奏楽部で吹いていた私が先輩に紹介してもらった思い出深い一冊。吹奏楽部現役や経験者の方には共感するところが多いだろう。吹奏楽部にとって、一番青春を感じるのは夏だと私は思うからこそ、この夏「吹部！」を読んで青春を味わいませんか。

★こちらの作品は、西東京市子ども電子図書館に所蔵しています。

# 『ゼツメツ少年』

重松清／著 新潮社

学校や家に居場所が無い3人の少年は逃げることにした、物語の中に――。

小説家の「センセイ」のもとに届いたとある手紙。差出人は自分達は今にもゼツメツしそうだから先生の書く物語中に自分達を隠して欲しいと頼みます。

正義感が強いのが災いして学校でいじめられているリュウ、不器用で周りから浮いているけれどお人好しなタケシ、自分を含む人間が嫌いなジュン。3人のひと夏の逃避行の物語が始まります。

学校や家庭といった「青春」の主な舞台に居場所を失くした3人はセンセイの書く物語の中で様々な人に出会います。

根底に流れているテーマは「想像力」。リュウ達3人が「ゼツメツ」しないために出会ったのはセンセイが想像した物語の登場人物。想像で作った現実とは違った展開もまた同じように彼らを救うのに必要なものでした。

ラストには少し意外なタネ明かしが待っています。想像力が救っていたのは3人の少年だけではなかったのです。

この物語の結末は決してハッピーエンドとは言えませんが、世界には温かさや光があるのだとあらためて感じさせられるような読後感に満たされます。少年期の新たな場所や人との出会いを青春と言うなら彼らの物語もまた青春と言えるでしょう。10代という多感な時期にぜひ読んで欲しい一冊です。

# 『くちびるに歌を』

中田永一／著 小学館

あなたの思い出の曲は、なんですか？

一曲や二曲を基に、仲間と心を共有して、音楽を作り出したことはありませんか？

この本は、一人一人の「声」から、音楽を作り出した中学生のお話です。

舞台は長崎県の五島列島。自称ぼっちのプロで、自閉症の兄を持つ少年サトルは、部活には入らず、授業の後に自転車で兄の職場まで迎えに行き、二人で話しながら家まで帰るという日課を楽しみにただただ平凡な日常を送っていました。しかし中学三年生に上がり、ひょんなことから中学校の合唱部に入部することになってしまいます。

サトルとは別に新しい美人な顧問の先生目的で同時に入部した男子たちや、そんな下心満載で入ってきた男子をよく思っていない女子たち。彼らにも各々、家族のことや、以前の顧問の先生の体調のこと、彼氏のこと、部活のこと、たくさんの悩みがありました。

そんなある日、顧問が合唱部の部員にこんな宿題を出しました。

「コンクールの課題曲『手紙』に向けて、十五年後の自分に手紙を書いてきてください。」

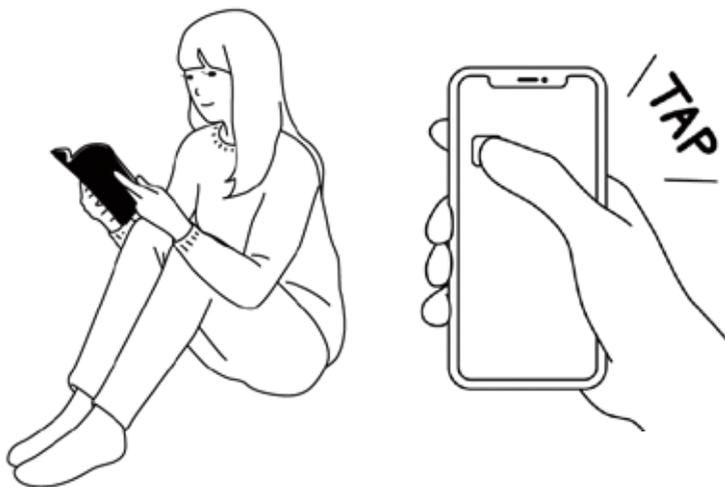
手紙とは、2008年のNHK全国合唱コンクールの課題曲としてアンジェラ・アキさんによって書かれた曲で、実際にアンジェラ・アキさんが書いた十五歳の自分から未来の自分への手紙と、大人になった自分から十五歳の自分への手紙を基に歌詞が書かれています。

各々の「個性」を一つに合わせて、でも歌っている人それぞれの想い

がのっている、そんな音楽を作り出せる「合唱」を題材としたストーリーとなっています。

歌を歌いこんでいくにつれてその心と向き合っていこうと成長していく、等身大で儂い<sup>はかな</sup>「青春」の声を、是非「目で」聴いてみてください。

本号で紹介した本は、すべて西東京市図書館で借りられます。  
また、「西東京市子ども電子図書館」を利用できる方は、  
パソコンやスマートフォン、タブレットで読むことができる  
作品もあります。  
ぜひ便利に利用してみてください♡



# YA! YA! ひろば

図書館内に設置してあるYA! YA! ポストに投稿してくれたYA! YA!

ペーパーを紹介します♪



自分がしょうかいするオススメの本は…

『ぼくらが大人になる日まで』 岡田衣世子さん作  
です! 私が、学校の図書室で見つけました!

この本は、みんな、中学受験に挑むお話です!

私は、中学受験までの日々を読むのも、楽しかったけど、

まずは、読むことが止まらない!! 楽しすぎて、面白  
くて、すきま時間があったら本! という感じでした。

そして、私が一番お気に入りの場面は…

国会議堂に行ったシーンです。この場面はハラハラ  
ワクワクドキドキさせられる場面。一番大好きです!

ぜひ、みなさんも、ワクワク、ドキドキする

ような気持ちになってみてください!

ゆわん

行先投稿  
ありがとう  
ございます!



私も受験  
したいな~

こんな  
気持ちに  
なるよ!



読みたくなる文章ありがとうございます。

私たちは読んだことがなかたので

読みたくなりました!

ぜひ、また感想を届けてください! ね!

編集者一同より



## 共同編集者のつぶやき ～編集後記に代えて～

今回のテーマは青春！…と一言で言っても、どんな青春を過ごすかは、十人十色、あなた次第ですね。この夏、ぜひ悔いのない青春を過ごして下さい♪

①ペンネーム

②自分が体験した青春の1ページ

③夏の推し曲！

① とろろらいおん

② 朝早い誰もいない教室で本を読んでいたら、気になっている人が登校して私の隣に座りました。そして、「俺はこの本が好き。」と一冊の恋愛小説を紹介してくれました。※実話に基づくフィクションです。

③ SixTONES PARTY PEOPLE (YouTubeでMV観れます！)

① りほ

② 小学生の時、友達と一駅分歩いたこと。土砂降りの雨に降られてずぶ濡れになりながら帰ったり、ちょっとした冒険でした。

③ 「ゆめいっぱい」

家族旅行の道中に観たちびまる子ちゃんの映画の主題歌でした。

① アオイ

② 友達の家にたむろしてゲームや漫画を楽しんだ夏

③ 柳川和樹「夏暁」

① しほ

② 高校3年間、誕生日が定期テストと被ってて草

③ AKR四十七フィーチャリング吉良「討ちたいんだ」

高1の夏、演劇部の劇で踊った曲です。内容は江戸時代の『元禄赤穂事件』についてなんとなく学べるというもの。(まあ、この事件自体は12月の出来事ですが)

① ブロッコリー

② 去年の部活の大会で賞を獲得できたこと。

③ 青と夏……と見せかけて点描の唄！！！！